

## 令和元年秋の全国交通安全運動の実施について

### 1 実施期間

9月21日(土)から同月30日(月)までの10日間

### 2 主催

内閣府・警察庁等10府省庁、都道府県、市区町村、関係13団体

### 3 運動重点

#### (1) 全国重点

- 子供と高齢者の安全な通行の確保
- 高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

#### (2) 地域重点

地域の交通事故実態等に即して必要があるときは定めることができる。

### 4 10～12月における交通死亡事故等の特徴

- 10～12月の高齢歩行者死者数は、1～3月と比較して3割以上多い
  - ・ 横断中や薄暮時間帯の死者の増加が顕著
  - ・ 横断歩道以外の事故の割合が高く、うち歩行者の約7割に法令違反あり
- 10～12月の高齢自転車乗用者死者数は、1～3月と比較して4割以上多い
  - ・ 薄暮時間帯の増加が顕著で、自転車乗用者の8割以上に法令違反あり

### 5 警察における重点的取組

- 地域ぐるみの幼児・児童の見守り活動や歩行シミュレーター等を活用した高齢者の交通安全教育等の推進
- 安全運転サポート車の普及啓発等の高齢運転者の交通事故防止対策の推進
- 早めのライト点灯、反射材用品等の着用の推進
- 横断歩道の通行と横断歩道における歩行者優先の徹底
  - ・ 運動期間中、各都道府県において対策強化日を設定
  - ・ 交通指導取締りと連動した広報啓発活動の推進

# 令和元年秋の全国交通安全運動を見据えた 交通事故分析について

令和元年9月12日  
警察庁交通局

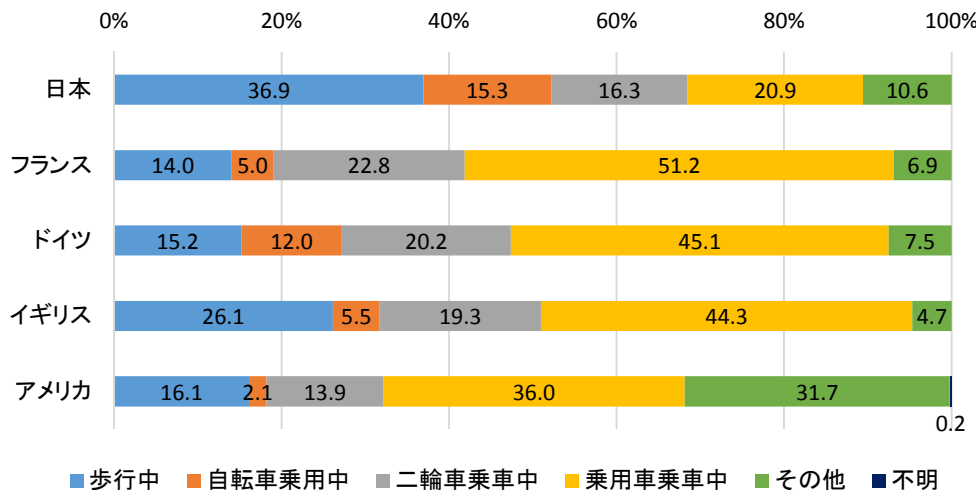
## 【概況】

- 10～12月の高齢歩行者死者数は、1～3月と比較して3割以上多い。
  - ・横断中や薄暮時間帯の死者の増加が顕著。
  - ・横断歩道以外の事故の割合が高く、うち歩行者の約7割に法令違反あり。
- 10～12月の高齢自転車乗用者死者数は、1～3月と比較して4割以上多い。
  - ・薄暮時間帯の増加が顕著で、自転車乗用者の8割以上に法令違反あり。
- 75歳以上運転者による免許人口当たりの死亡事故件数は、75歳未満と比較して約2.4倍。
- 飲酒事故の死亡事故率は、飲酒なしと比較して約8.3倍。
- 後部座席シートベルト非着用時の致死率は着用時と比較して約3.5倍（一般道路）。
- 幼児のチャイルドシート不使用時の致死率は適正使用時と比較して約13.4倍。

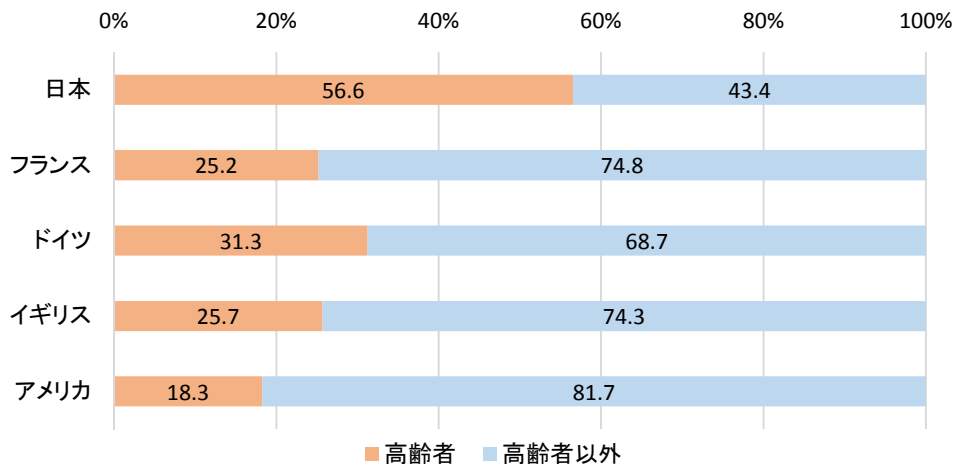
(注)・本資料は、令和元年8月6日までに入手したデータにより作成したものである。  
・数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

# 1 国別状態別年齢層別交通事故死者構成率・状態別年齢層別交通事故死者構成率

国別状態別30日以内死者数の構成率比較（2017年）

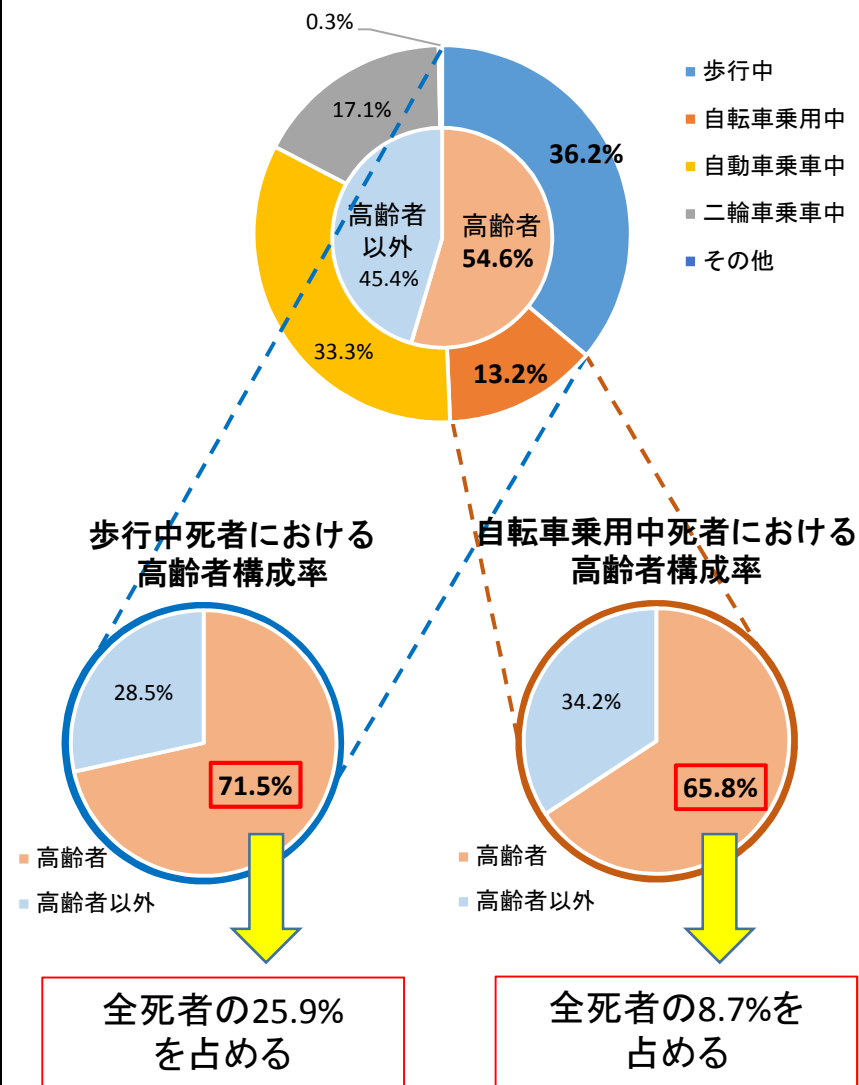


国別年齢層別30日以内死者数の構成率比較（2017年）



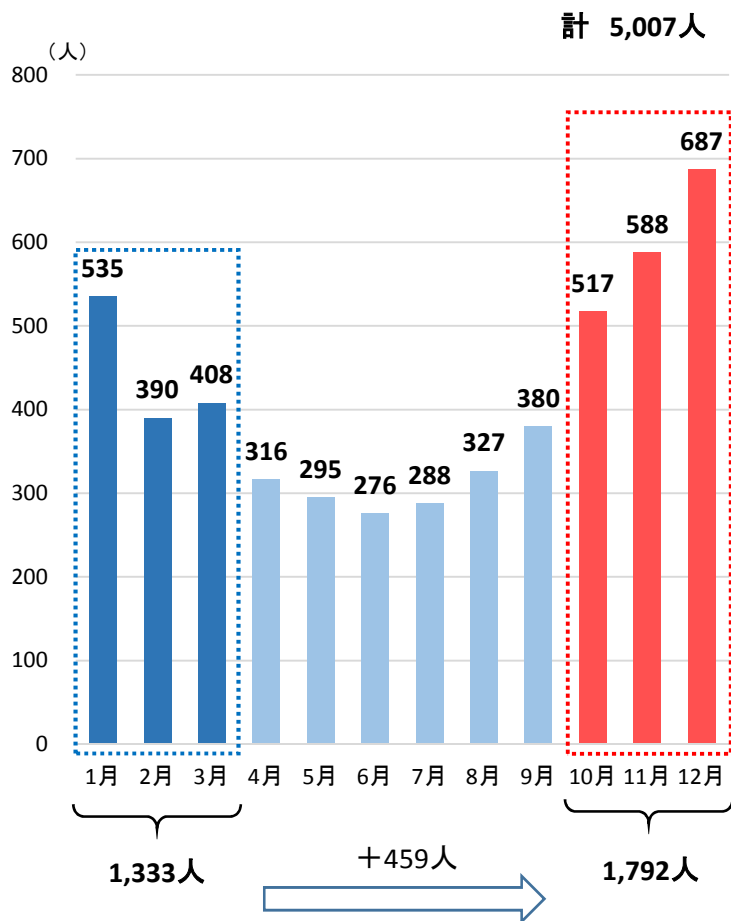
(注) 国際道路交通事故データベース(IRTAD)資料による。

状態別年齢層別交通事故死者構成率  
(平成26年～平成30年合計)



## 2-1 月別・時間帯別の高齢歩行者死者数

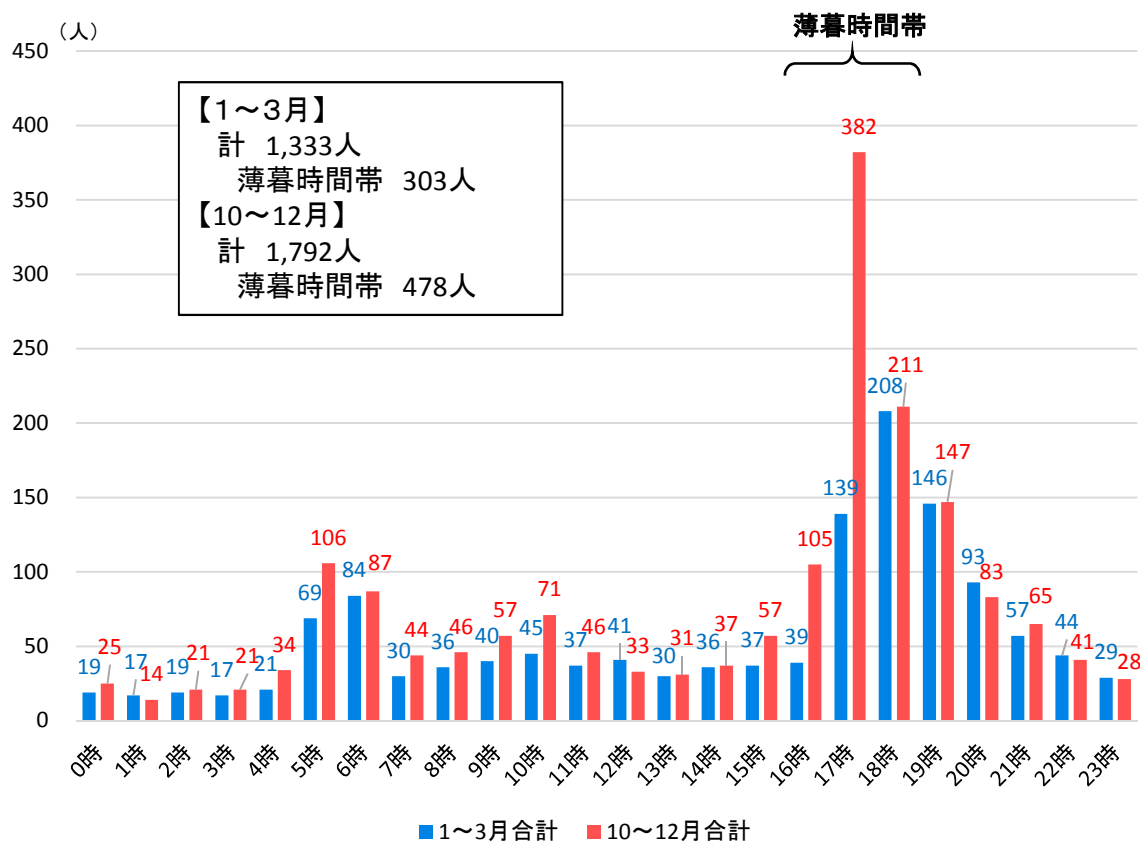
月別の高齢歩行者死者数  
(平成26年～平成30年合計)



【うち横断中】

995人 (74.6%) → +425人 → 1,420人 (79.2%)

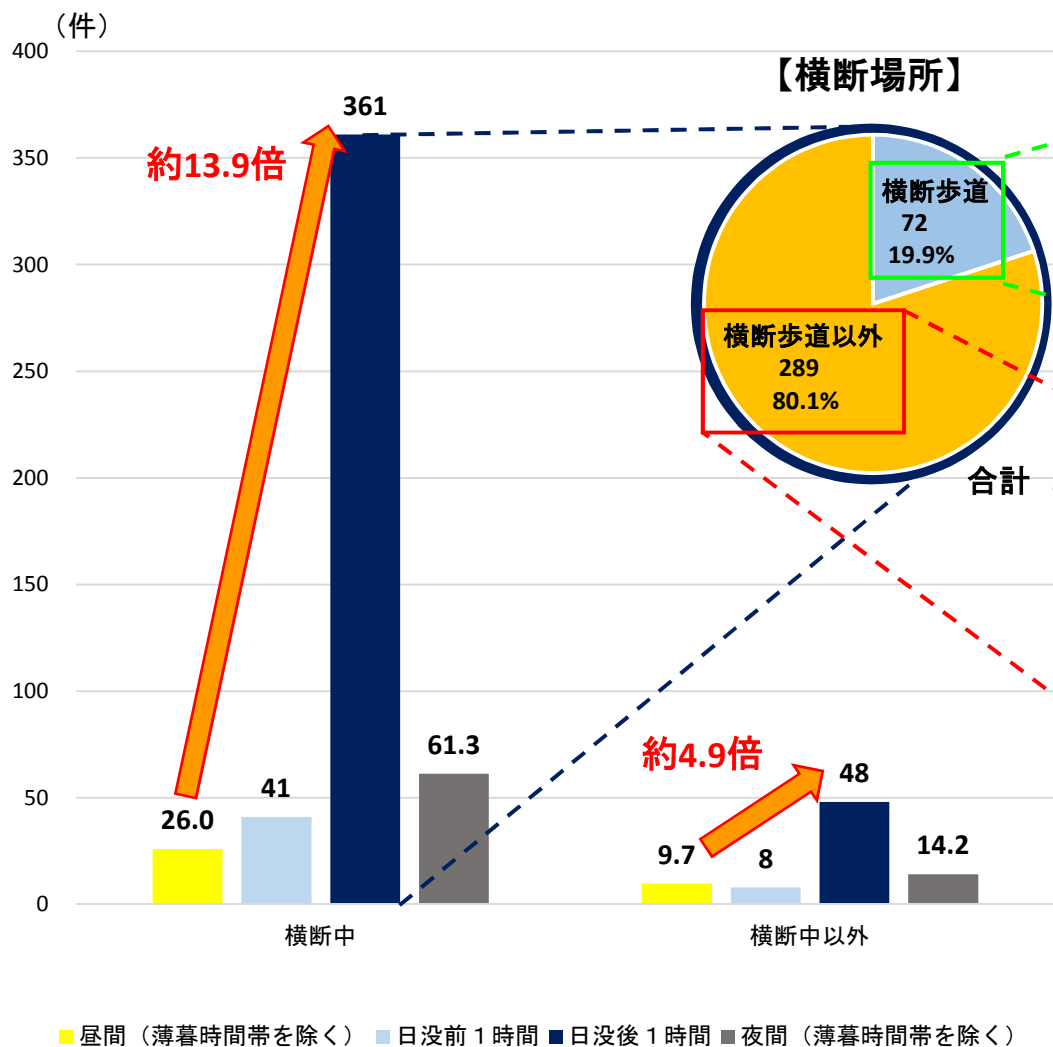
時間帯別の高齢歩行者死者数  
(平成26年～平成30年 各年1～3月合計及び10～12月合計)



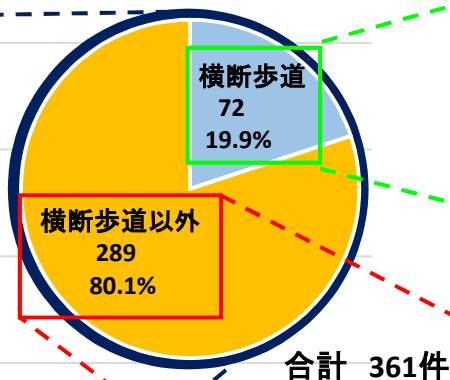
(注) 「薄暮時間帯」とは、日没時刻の前後1時間をいう(日没時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地(北海道は各方面本部所在地)の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。)。以下同じ。

## 2-2 昼夜別自動車対高齢歩行者の死亡事故件数

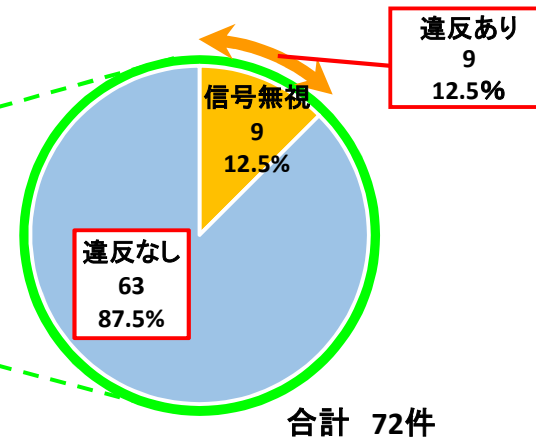
自動車対高齢歩行者死亡事故件数【1時間当たり】  
 (平成26年～平成30年 各年10～12月合計)



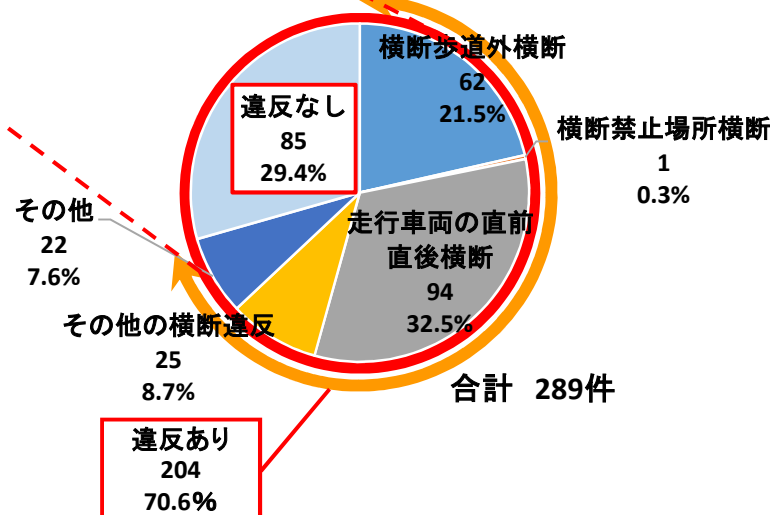
【横断場所】



【横断歩道横断中歩行者の法令違反】

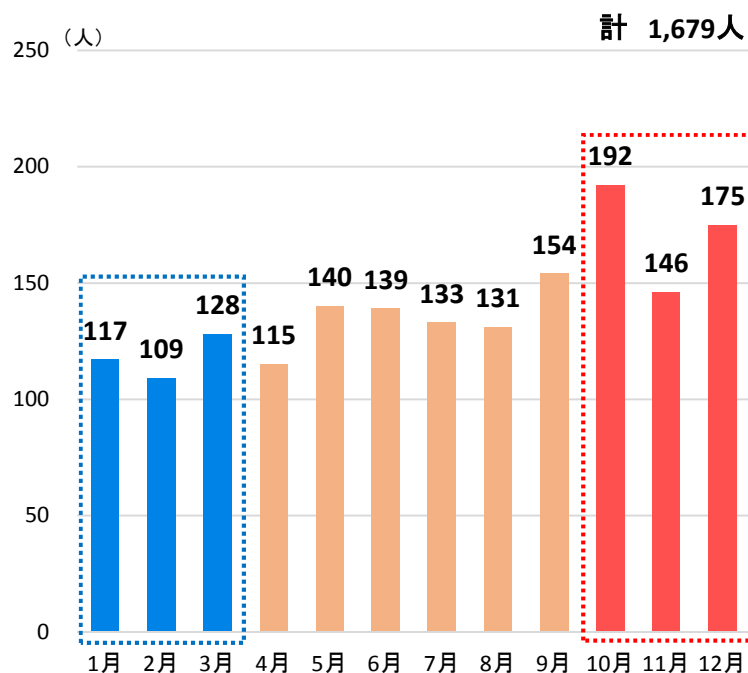


【横断歩道以外横断中歩行者の法令違反】

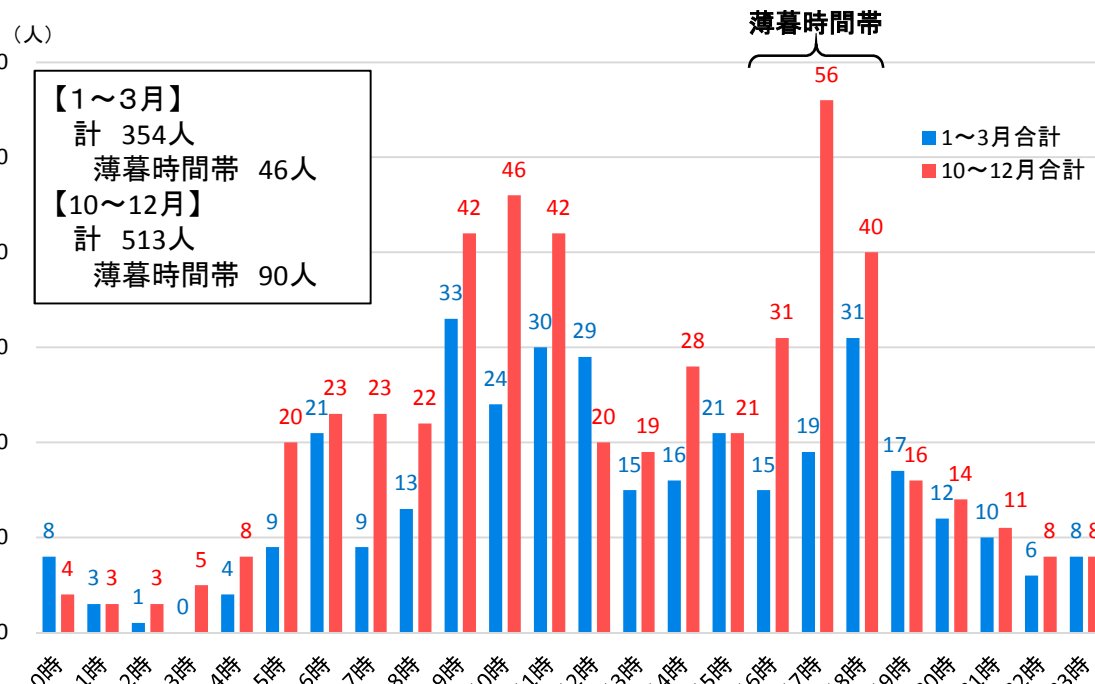


### 3 月別・時間帯別の高齢自転車乗用者死者数

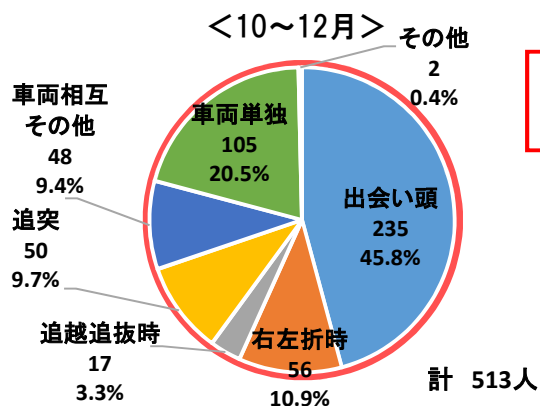
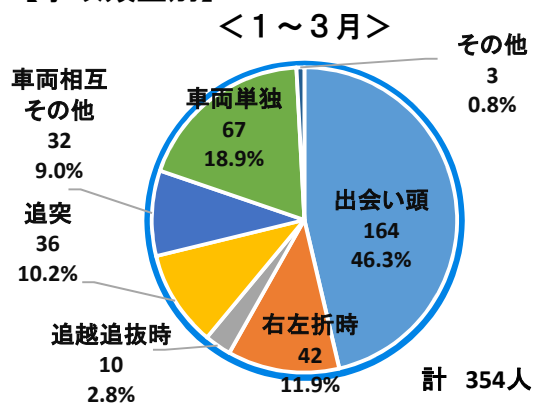
月別の高齢自転車乗用者死者数  
(平成26年～平成30年合計)



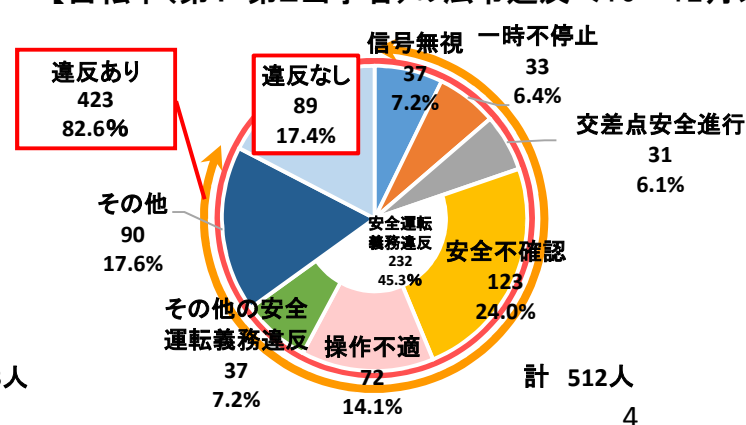
時間帯別の高齢自転車乗用者死者数  
(平成26年～平成30年 各年1～3月合計及び10～12月合計)



【事故類型別】

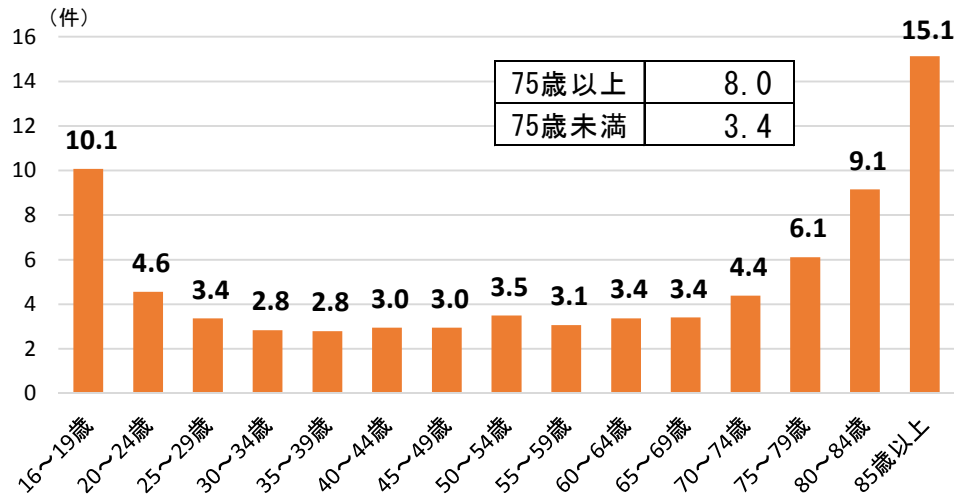


【自転車(第1・第2当事者)の法令違反<10~12月>】



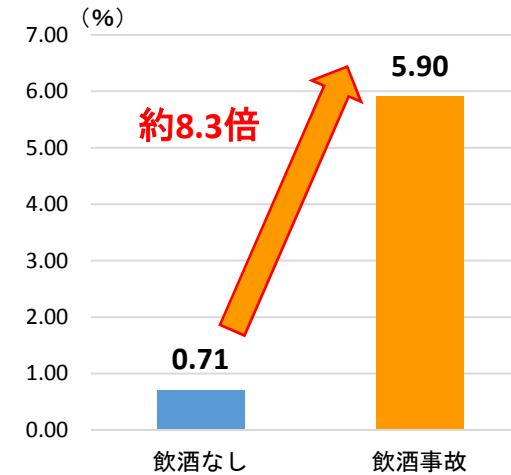
# 4 年齢層別死亡事故・飲酒事故・シートベルト・チャイルドシートに関する分析

原付以上第1当事者の年齢層別の免許人口10万人当たり死亡事故件数  
(平成30年)



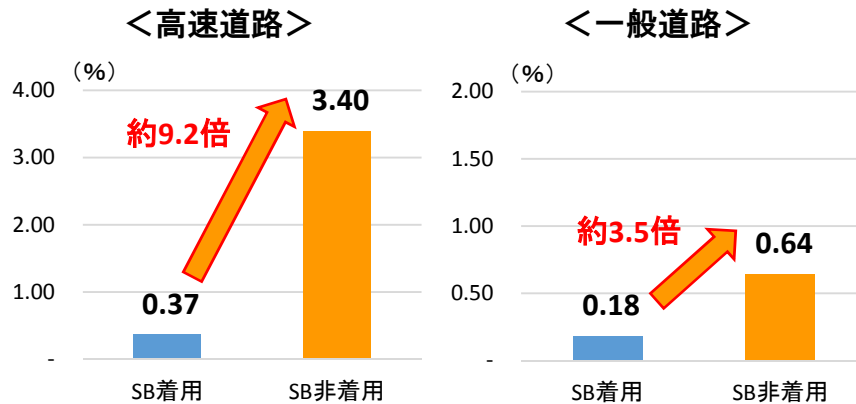
(注)・算出に用いた免許人口は、平成30年12月末現在の値である。  
・無免許の件数を除く。

原付以上第1当事者の飲酒有無別死亡事故率比較  
(平成30年)



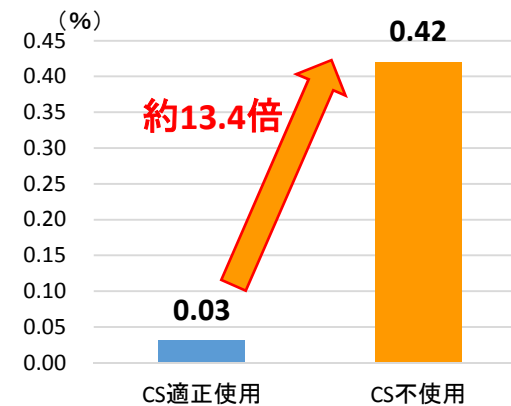
(注)・「死亡事故率」は死傷事故に占める死亡事故の割合をいう。  
・調査不能は除外した。

自動車(第1・第2当事者)後部座席同乗者のシートベルト着用・非着用  
別の致死率比較(平成30年)



(注)・「後部座席」とは、乗用車、貨物車、特殊車の運転席及び運転席横の座席以外の座席に乗っていた者をいう(バスの座席、貨物車の寝台席を除く)。  
・「致死率」は、死傷者に占める死者の割合をいう(着用不明を除く)。

自動車同乗中(6歳未満の幼児)のチャイルドシート  
使用有無別致死率比較(平成26年~平成30年合計)



(注)「適正使用」とは、チャイルドシートが車両に適正に固定され、かつ、幼児等がチャイルドシートを適正に使用している場合をいう。